

平成30年度スーパーグローバルハイスクール事業 ドイツ連邦共和国短期滞在研修 業務仕様書

1 目的

この仕様書は、平成30年度スーパーグローバルハイスクール事業「ドイツ連邦共和国短期滞在研修」業務（以下、本事業）の交通・宿泊等旅行計画の立案・運營業務に関する基本的な事項を定め、この業務の円滑な実施を図ることを目的とする。

2 本事業の概要

本校一年時 SGH ドイツ研修では、平成28年度は地方創生イノベーションスクールの一環として、ミュンヘンのErnst Mach Gymnasium校と交流し、Think Greenをテーマとし、2030年に問題となる地域の課題と共通する世界的な課題についてアクションを提言した。また、平成29年度は前年度の取組を引き継ぎ、コンスタンツのWessenberg Schule校と交流した。本校では、未来創造探究として、原子力災害からの復興や、持続可能な地域づくりの探究内容が、福島のための課題ではなく、全世界の共有する「持続可能な社会づくり」であると考えている。本年度1年次海外研修においては、ドイツの高校生と交流を図るとともに、ドイツの環境都市フライブルク等を訪問することにより、将来起こりうる世界の課題に向き合い、持続可能な社会をめざして未来を創造していく一歩とする。

(1) 研修概要

① 派遣期間

平成31年1月6日（日）～1月13日（日） 8日間

② 参加予定人員

生徒 12名

引率教員 3名

③ 研修行程

月日（日本時間）	行程	宿泊場所	食事
1月6日（日）	ふたば未来学園～出発空港～ ドイツフランクフルト空港 宿泊先へ移動。 ※成田 or 羽田空港までの移動方法と フライト時刻は特に指定しない。 ※到着地はフランクフルト以外でも可とする。	フランクフルトの ホテル ※フランクフルト 以外でも可とする。	機内食 夕：準備
1月7日（月）	ハイデルベルクへ移動。（借り上げ車両） ハイデルベルクでの研修	ハイデルベルクの ホテル	朝：準備 夕：準備 昼食は各自負担。 場所を確保すること。
1月8日（火）	フライブルクへ移動。（借り上げ車両） フライブルクでの研修	フライブルクのホ テル	朝：準備 夕：準備 昼食は各自負担。 場所を確保すること。

1月9日(水)	フライブルク市での研修 コンスタンツへ移動 Wessenberg-Schule 校での研修	コンスタンツ近郊 のホテル	朝：準備 夕：準備 昼食は各自負担。 場所を確保すること。
1月10日(木) 1月11日(金)	Wessenberg-Schule 校での研修	コンスタンツ近郊 のホテル	朝：準備 夕：準備 昼食は各自負担。 場所を確保すること。
1月12日(土) 1月13日(日)	ホテル～チューリヒ・クローテン空港～ ドイツフランクフルト空港～ふたば未来学園 ※成田 or 羽田空港からの移動方法と フライト時刻は特に指定しない。 ※出発地はチューリッヒ以外も可とする。		朝食を準備 昼食は各自支払。 場所を確保すること。 機内食

(2) 研修内容

① ハイデルベルク市訪問（1日間程度）

市民や企業が一体となり、環境保護と観光的魅力を両立させる環境に優しいエネルギーの供給やCO₂削減の取り組みを学ぶ。

② フライブルク市訪問（2日間程度）

ドイツにおける環境や再生可能エネルギー政策の利点や問題点を探り、日本の今後のエネルギーのあり方を考察する。

③ 現地高校生との交流（2日間程度）

現地の高校生と持続可能な社会を支えるためのエネルギー政策について学び、未来の社会を作る人材としてお互いに研鑽する。

④ 現地の高校生との交流活動において、福島の実状を伝えることを通して、福島の安全・再生の歩みを正しく理解してもらう。

3 委託内容

(1) 上記研修概要に基づく派遣場所への渡航、国内移動、現地移動、宿泊に必要な手配を行うこと。

① 業務の実施に当たっては、行程において適切な指示を行い、業務全体が円滑に実施されるように十分留意すること。

② 旅行中の事故防止及び不測の事態における対処に最善の努力を講じること。

③ 航空会社はLCCを除き、渡航の座席については参加者全員エコノミークラスとすること。

④ 宿泊先については、下記の通り手配し、委託料の中から宿泊費用の支払いをすること。

(A) 生徒の宿泊先

- ・研修先へのアクセスに差し支えの無い立地のホテル（トリプルルーム可）を確保すること。
- ・ホテルの宿泊部屋については、入り口及び窓等に施錠できること。また、温水が出るシャワールームを確保すること。

(B) 引率教員の宿泊先

- ・生徒の宿泊先と同じホテル（シングルルーム）を確保すること。
- ・宿泊部屋については、入り口及び窓等に施錠できること。また、温水が出るシャワールームを確保すること。
- ・部屋又はホテル内にWifi 利用環境があること。

⑤ 添乗員は同行しないこととするが、訪問先で支障がないように手配を行うこと。

- ⑥ 引率教員が、メール等で日本と連絡を取ることができるようにWifi ルーターを3台準備すること。
- ⑦ 1月7日のハイデルベルク訪問では、環境保護と観光的魅力の両立について説明できる現地ガイドを手配すること。
- ⑧ 1月8日・9日のフライブルク訪問では、再生可能エネルギーの関連施設を訪問する機会を設定し、説明できる現地ガイドを手配すること。
- ⑨ 1月9日・10日・11日のWessenberg-Schule 校での研修は先方へ依頼済であるが、詳細を確認し、現地と必要に応じて調整を行うこと。
- ⑩ 何れかの日程で歴史や文化に関する研修の機会を設け、必要な調整を行うこと。
- ⑪ 参加生徒及びその保護者、引率教員に対し、事前に「旅行のしおり」を配付すること。
- ⑫ ふたば未来学園高等学校と旅行者・引率教員及び生徒との緊急連絡体制を確立し、連絡手段として現地で使用できる携帯電話1台を準備すること。
- ⑬ 出国税・空港税等の諸費用についても委託料から支出すること。

4 研修に係る経費

- (1) 全行程の経費のうち、参加生徒の自己負担360,000円(30,000円×12名)を除いた額を委託料と定める。全行程とは、1月6日に参加者が学校に参集してから1月13日に学校で解散するまでとする。
- (2) 生徒の自己負担金分は受託者において受理すること。

5 成果品

- (1) 平成30年度スーパーグローバルハイスクール事業「ドイツ連邦共和国短期滞在研修」業務完了報告書(別紙様式)
- (2) 旅行等手配の内訳書(行程表、宿泊先手配、交通手段の手配、研修先の手配、宿泊者数、キャンセル料金等の根拠が分かる資料)(様式任意)
- (3) 配付済の「旅行のしおり」

6 契約内容の変更等

- (1) 参加者数の変更等により、契約金額に変更が生じた場合は、変更契約を締結するものとする。
- (2) 本仕様書に定められた業務内容の実施に当たっては、追加の費用負担が生じた場合においても、それが仕様を満たすために当然必要と認められるものについては、原則として受託者の負担とする。

7 その他

- (1) 受託者はここに記載されていない事項についても現場の状況に応じ、誠意を持って対応しなければならない。
- (2) 受託者は、平成30年12月中に参加予定者とその保護者に対して、研修行程、安全対策、保険等に関する説明会を実施すること。
- (3) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、委託者と受託者が協議して定めるものとする。